



1. 災害用伝言ダイヤルとは

災害用伝言ダイヤルとは、災害時に通信が混雑しつながりにくくなったときに、伝言を録音・再生できるサービスのことです。電話がつながりづらくても、災害用伝言ダイヤルであれば「伝言」という形で安否を伝えられます。災害用伝言ダイヤルは、基本的に**震度 6 弱の地震が発生した際にサービスが開始されます**。原則として**災害発生から 30 分～1 時間後から利用可能です**。一方で、震度 5 強以下の地震や、地震以外の災害が発生した場合は、NTT 東日本(または西日本)がサービス開始の有無を判断することになっています。

2. 【シニア向け】災害用伝言ダイヤルの使い方

シニア世代には、声だけで自身の安否を伝えられる、災害用伝言ダイヤルがおすすめです。

ガイダンスに沿って手順を踏みさえすれば良いので、録音や再生も簡単にできます。ここでは、災害用伝言ダイヤルの使い方を録音と再生に分けて解説します。



2-1.録音方法

災害用伝言ダイヤルの録音方法は、以下の手順です。

1. 「**171**」にダイヤルする
2. ガイダンスに従って「**1**」を押す
3. ガイダンスに従って(被災地の方の)電話番号を
入力する→伝言ダイヤルセンタに接続される
4. 30 秒以内に伝えたい内容を話す→録音される
5. 「伝言をお預かりしました」とガイダンス後、
自動的に切れる

2-2.再生方法



災害用伝言ダイヤルの再生方法は、以下のとおりです。

1. 「**171**」にダイヤルする
2. ガイダンスに従って「**2**」を押す
3. ガイダンスに従って（被災地の方の）電話番号
を入力する→伝言ダイヤルセンタに接続される
4. 新しい伝言から順に流れる→再生される
5. 「お伝えする伝言は以上です」とガイダンス
後、自動的に切れる



体験利用日は次のとおりです。

- ・ 毎月 **1 日**及び **15 日** **0 : 00～24 : 00**
- ・ 正月三が日

(1 月 1 日 0 : 00～1 月 3 日 24 : 00)

- ・ 防災週間

(8 月 30 日 9 : 00～9 月 5 日 17 : 00)

- ・ 防災とボランティア週間

(1 月 15 日 9 : 00～1 月 21 日 17 : 00)